ビャクジュツ

基原及び生薬の性状の項を次のように改める.

本品は 1) オケラ *Atractylodes japonica* Koidzumi ex Kitamura の根茎（ワビャクジュツ）又は 2) オオバナオケラ *Atractylodes macrocephala* Koidzumi (*Atractylodes ovata* De Candolle) (*Compositae*)の根茎(カラビャクジュツ)である.

生薬の性状

1) オケラ *Atractylodes japonica* Koidzumi ex Kitamura 本品の周皮を除いたものは不整塊状又は不規則に屈曲した円柱状を呈し，長さ 3～8cm，径 2～3cm である．外面は淡灰黄色～淡黄白色で，ところどころ灰褐色である．周皮を付けているものは外面は灰褐色で，しばしば結節状に隆起し，あらいしわがある．折りにくく，折面は繊維性である．本品の横切面には淡黄褐色～褐色の分泌物による細点がある.

本品は特異なにおいがあり，味はわずかに苦い.

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，周皮には石細胞層を伴い，皮部の柔組織中にはしばしば師部の外側に接して繊維束があり，放射組織の末端部には淡褐色～褐色の内容物を含む油室がある．木部には大きい髄を囲んで放射状に配列した道管とそれを囲む著しい繊維束がある．髄及び放射組織中には皮部と同様な油室があり，柔組織中にはイヌリンの結晶及びシュウ酸カルシウムの小針晶を含む.

2) オオバナオケラ *Atractylodes macrocephala* Koidzumi 本品は不整に肥大した塊状を呈し，長さ 4～8cm，径 2～5cm で外面は灰黄色～暗褐色を呈し，ところどころにこぶ状の小突起がある．折りにくく，破砕面は淡褐色～暗褐色で，木部の繊維性が著しい.

本品は特異なにおいがあり，味はわずかに甘く，後にわずかに苦い.

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，周皮は石細胞層を伴い，通例，皮部には繊維を欠き，師部放射組織及びその末端部には黄褐色の内容物を含む油室がある．木部には大きい髄を囲んで放射状に配列した道管とそれを囲む著しい繊維束がある．髄及び放射組織中には皮部と同様な油室があり，柔組織中にはイヌリンの結晶及びシュウ酸カルシウムの小針晶を含む.